

第60回「医療者がん研修会」

2015/9/17

もっと知りたい 膀胱がん治療

尿路癌・膀胱癌の 診断および概論

広島市立広島市民病院 泌尿器科 副部長

枝村 康平

悪性

良性

腎腫瘍
(腎細胞がん)

腎盂腫瘍

尿管腫瘍

膀胱腫瘍

前立腺がん

精巣腫瘍

陰茎がん

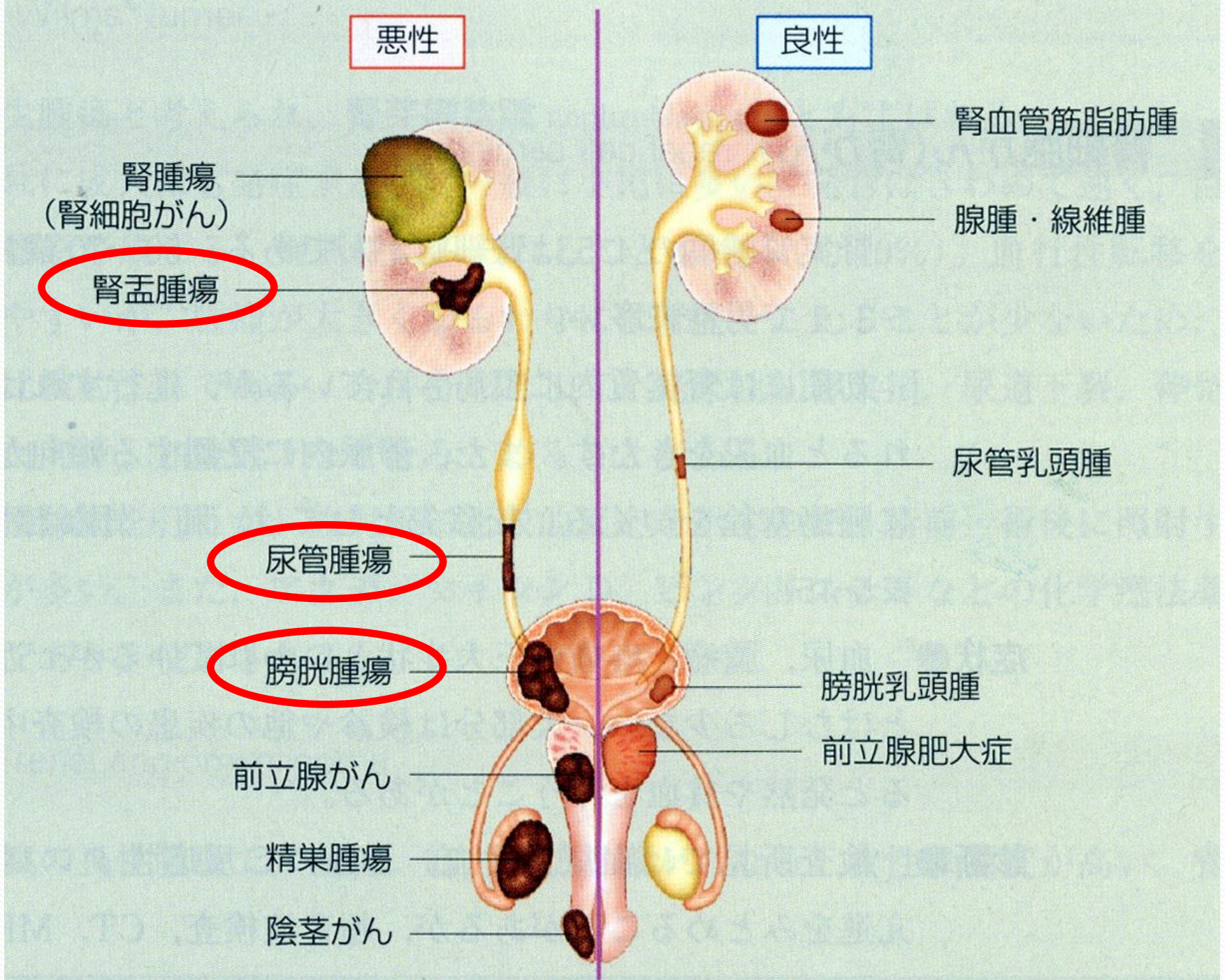
腎血管筋脂肪腫

腺腫・線維腫

尿管乳頭腫

膀胱乳頭腫

前立腺肥大症



本日の内容

I 尿路がんの疫学

1. 罹患率
2. 危険因子

II 腎盂・尿管がん

1. 診断
2. 治療

III 膀胱がん

1. 診断
2. 治療

I 尿路がんの疫学

1. 罹患率

2. 危険因子

II 腎盂・尿管がん

1. 診断

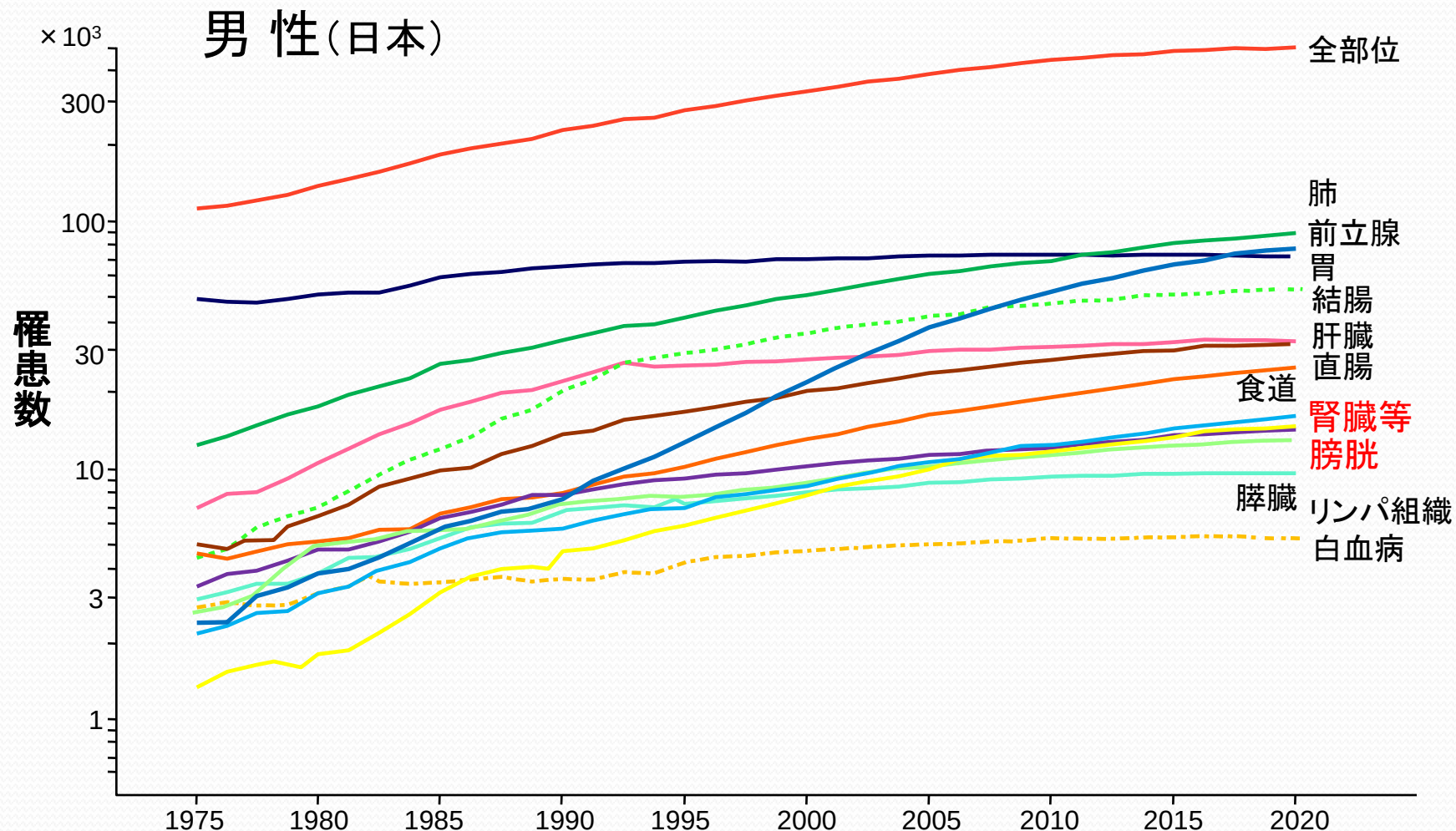
2. 治療

III 膀胱がん

1. 診断

2. 治療

がんの部位別罹患率と将来予測



I 尿路がんの疫学

罹患率

- 男女比は 2～3 : 1
- 好発年齢は 60 歳以降で、50 歳以上が全体の約 90%
- 膀胱癌の年齢調整罹患率(年齢調整罹患率: /10万人/年)は, 7.6であり,
男女別にみると, 男性 13.5, 女性2.9 (2002年)
- 腎盂・尿管がんは膀胱癌に比較して少なく約1/10
特に尿管がんはまれで腎盂がんの約 1/4

I 尿路がんの疫学

危険因子

- 喫煙
- 職業性発がん性物質
ベンジジン、ナフチルアミン、アミノビフェニル、ニトロビフェン
- 慢性炎症
尿路感染症、尿路結石、神経因性膀胱など
- 抗癌剤、放射線被曝
- ビルハルツ住血吸虫症

I 尿路がんの疫学

1. 罹患率

2. 危険因子

II 腎盂・尿管がん

1. 診断

2. 治療

III 膀胱がん

1. 診断

2. 治療

Ⅱ 腎盂・尿管がん 診 断

<症状>

- 肉眼的血尿、顕微鏡的血尿
- 通過障害のある場合、側腹部違和感、疼痛など
- 水腎、水尿管

Ⅱ 腎盂・尿管がん 診 断

<診断検査>

- 尿沈渣
- 超音波検査
- 画像検査

CT,MRI,

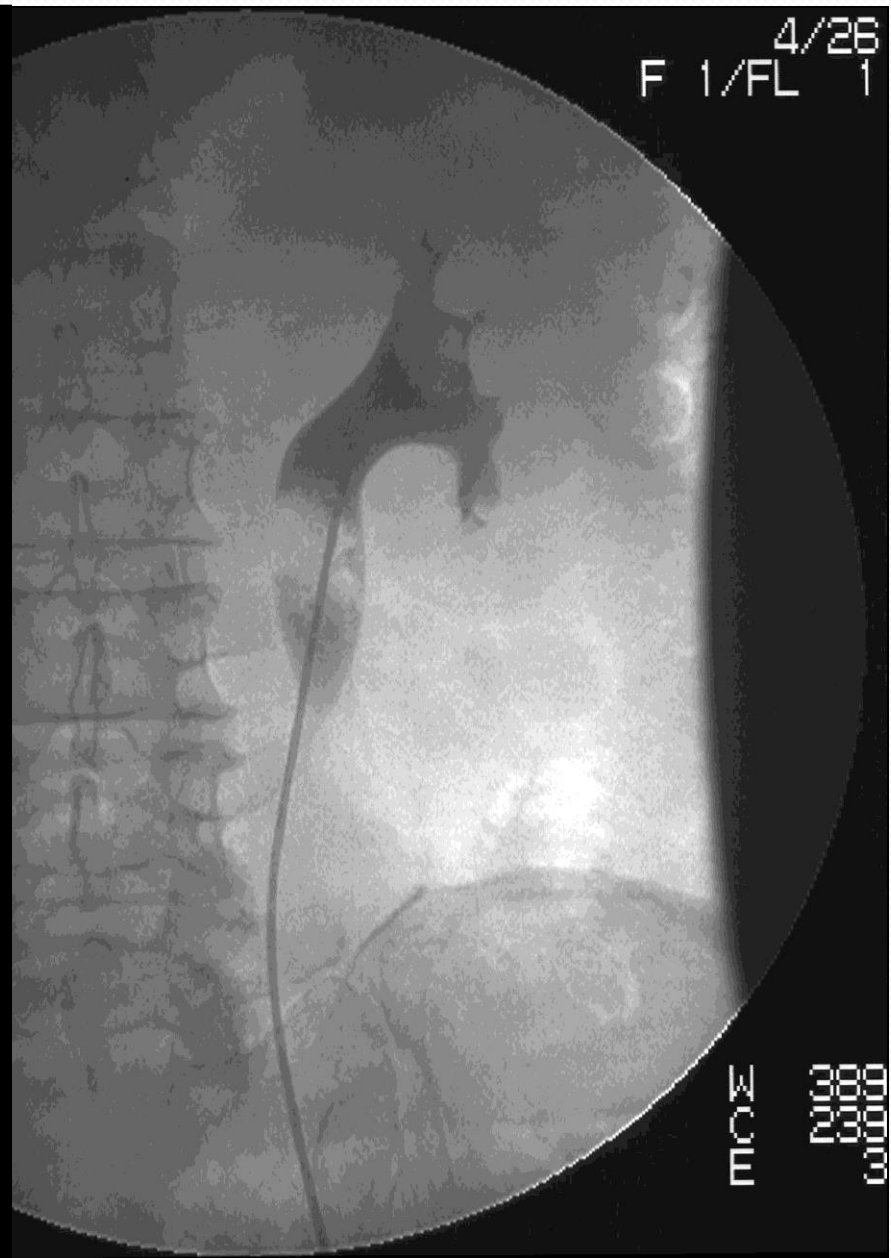
尿路造影検査(経静脈性腎盂造影、逆行性腎盂造影)

- 尿細胞診
- 腎盂尿管鏡

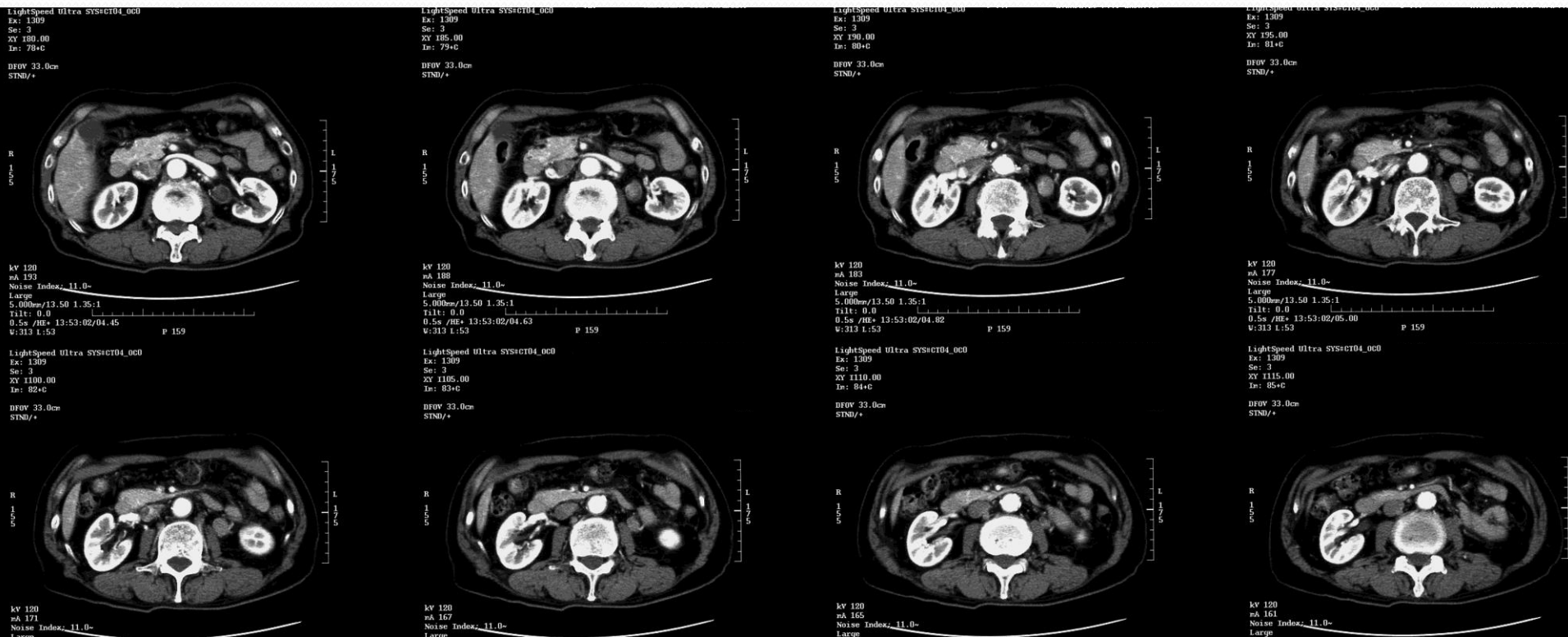
經靜脈性腎盂造影



逆行性腎盂造影



CT検査



腎盂尿管癌のTNM分類

T : 原発腫瘍の壁内深達度

Ta : 乳頭状非浸潤がん

Tis: 上皮内がん(CIS)

T1 : 上皮下結合組織に浸潤する腫瘍

T2 : 筋層に浸潤する腫瘍

**T3 : 腎盂では筋層を超えて腎盂周囲脂肪組織または腎実質に浸潤
尿管では筋層を超えて周囲脂肪組織に浸潤**

T4 : 隣接臓器または腎実質を超えて腎周囲脂肪組織に浸潤

N : 所属リンパ節

N0 : 所属リンパ節転移なし

N1 : 最大径が2cm以下の1個のリンパ節転移

N1 : 最大径が2cm以下の1個のリンパ節転移

N3 : 最大径が5cmを超える所属リンパ節転移

M : 遠隔転移

M0 : 遠隔転移なし

M1 : 遠隔転移あり

Ⅱ 腎盂・尿管がん 治 療

1 遠隔転移のない症例

- ・ 腎尿管全摘除+膀胱部分切除術が標準
- ・ 症例によって尿管部分切除
- ・ T4、N(+)症例では全身化学療法や放射線療法との併用

2 遠隔転移のある症例

- ・ 全身化学療法
- ・ 局所制御のための放射線療法との併用

I 尿路がんの疫学

1. 罹患率
2. 危険因子

II 腎盂・尿管がん

1. 診断
2. 治療

III 膀胱がん

1. 診断
2. 治療

Ⅲ 膀胱がん 診 断

< 症状 >

- 肉眼的血尿、顕微鏡的血尿
- 膀胱刺激症状
頻尿、排尿時痛、残尿感等

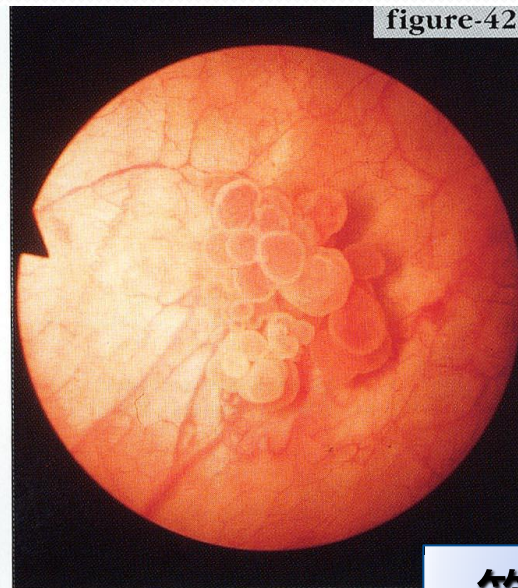
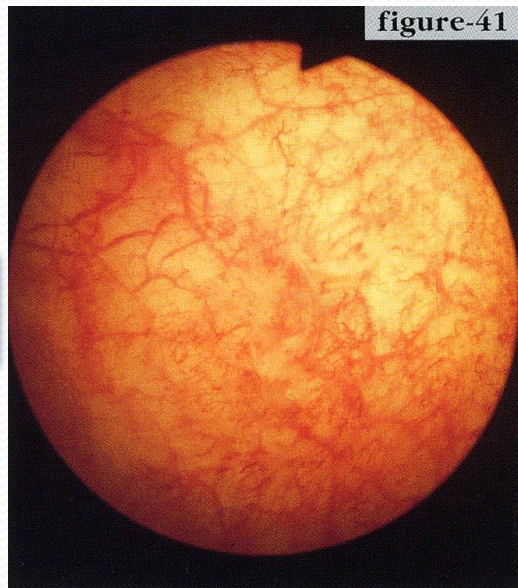
Ⅲ 膀胱がん 診 断

<診断検査>

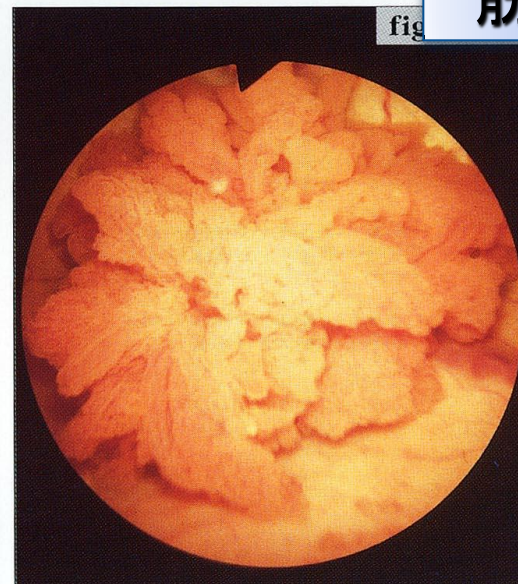
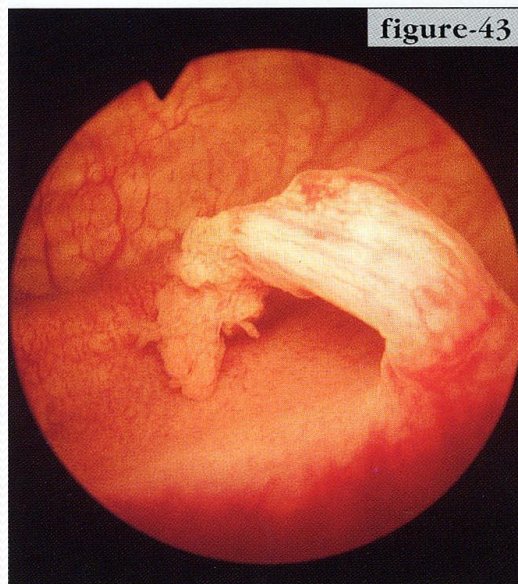
- 尿沈渣
- 超音波検査
- 膀胱鏡
- 画像検査(CT,MRI)
- 尿細胞診

膀胱鏡所見

上皮內癌



筋層非浸潤性



膀胱鏡所見

浸潤癌

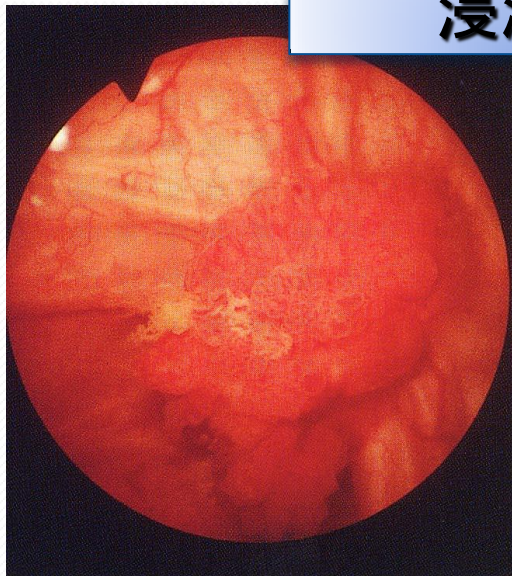


figure-46

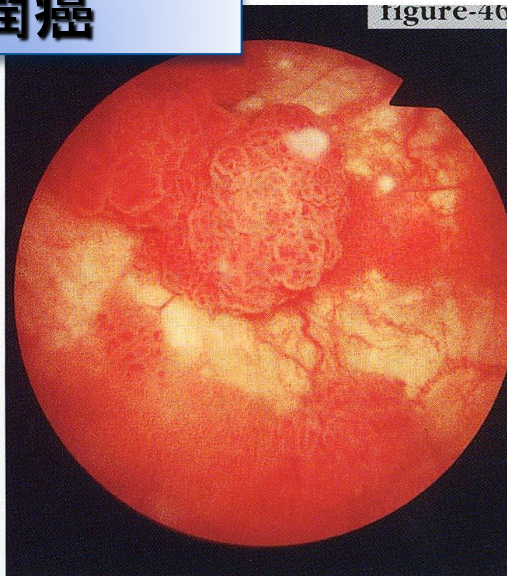


figure-47

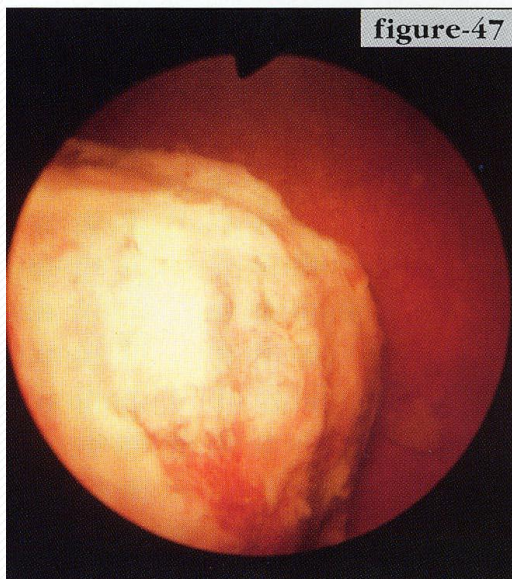
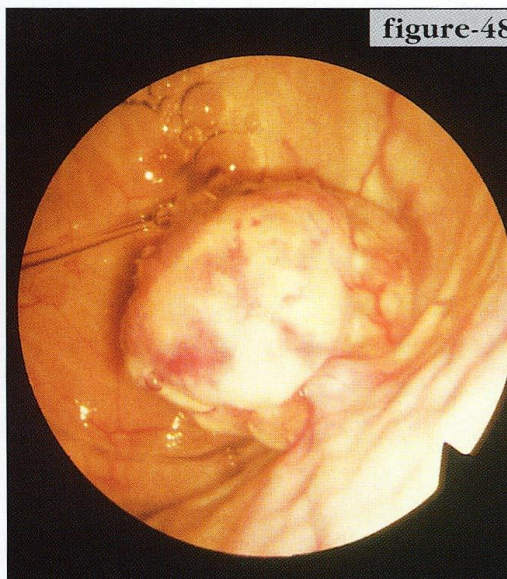


figure-48



CT所見

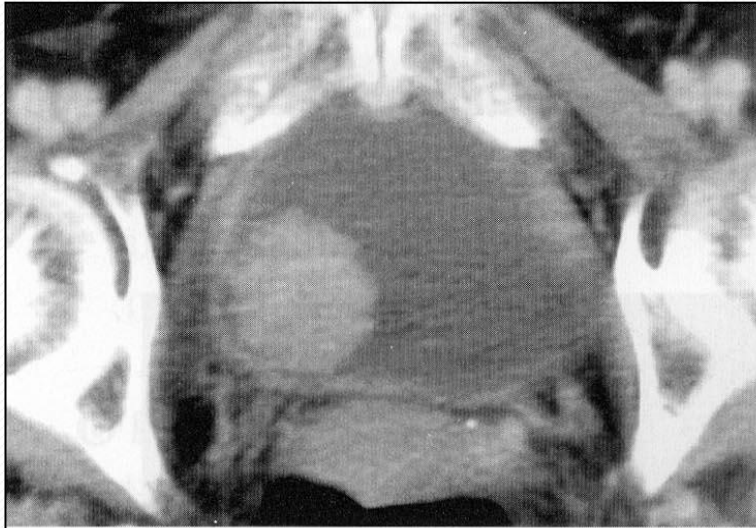
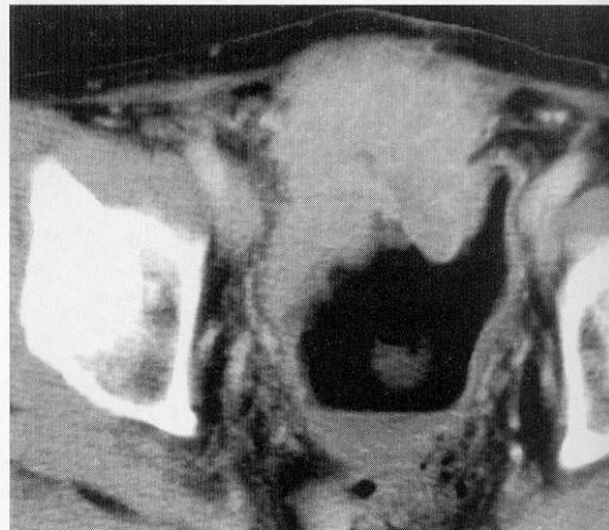
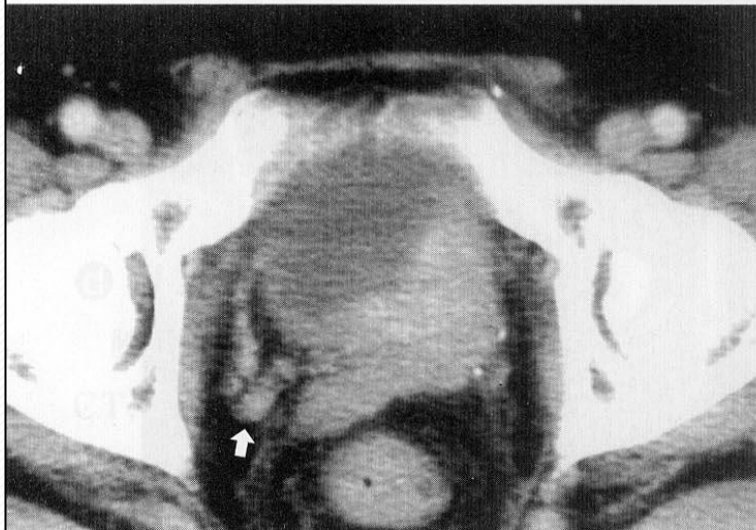


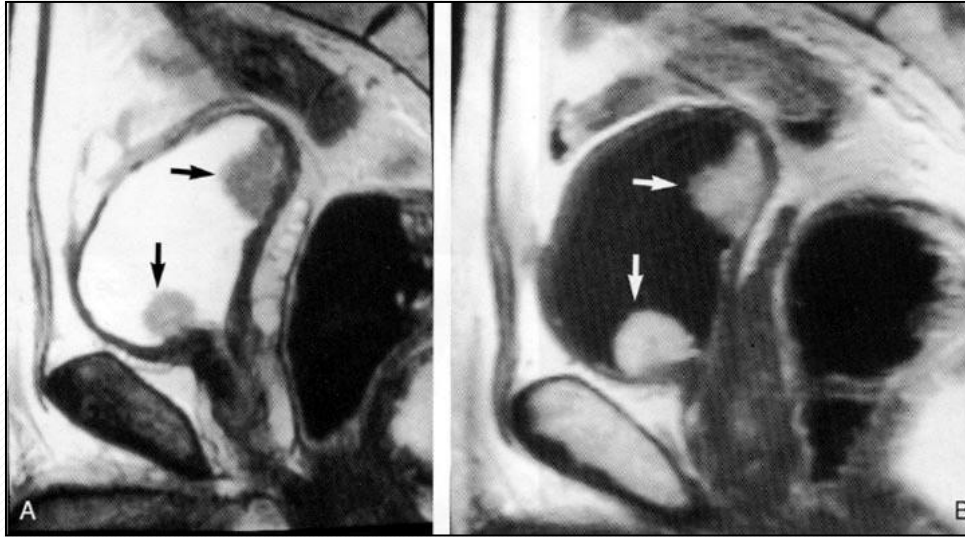
図 5 - 3
T1 以下：膀胱壁の肥厚は認めない



図 5 - 4
T3b：膀胱壁の肥厚と壁外への浸潤を認める



MRI所見



Ta



T3b

膀胱癌のTNM分類

T分類:局所(膀胱内)のがんの進行度

Ta :乳頭状非浸潤がん

Tis :上皮内がん(CIS)

T1 :粘膜上皮下結合織に浸潤するがん

T2 :筋層に浸潤するがん

T2a:浅筋層に浸潤するがん

T2b:深筋層に浸潤するがん

T3 :膀胱周囲組織に浸潤するがん

T3a:顕微鏡的

T3b:肉眼的(膀胱外の腫瘤)

T4 :次のいずれかに浸潤する腫瘍:前立腺間質、精囊、子宮、膣、骨盤壁、腹壁

N分類:リンパ節転移の有無とその程度

N0 :所属リンパ節転移なし

N1 :小骨盤腔内の1個のリンパ節への転移

N2 :小骨盤腔内の多発リンパ節転移

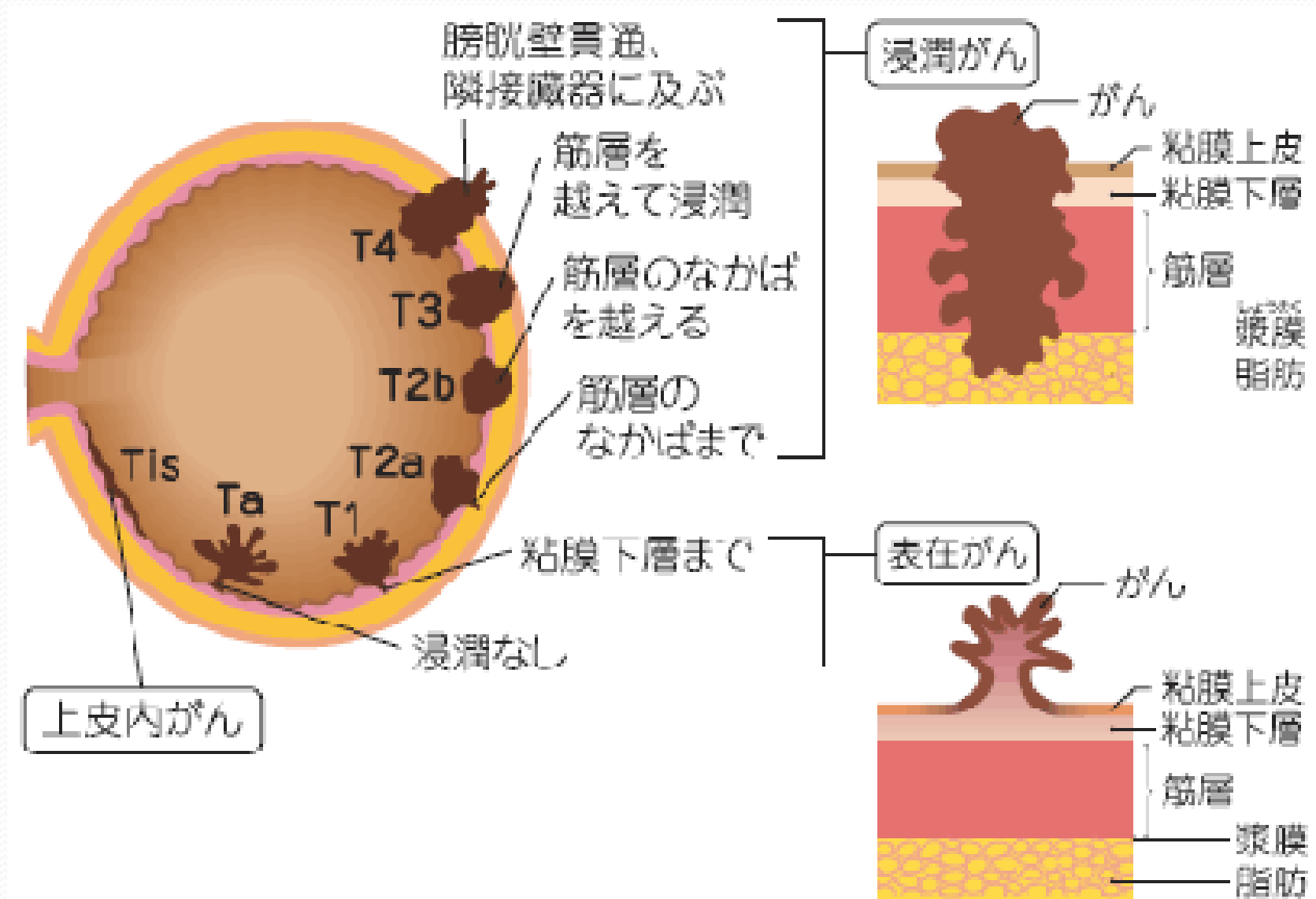
N3 :総腸骨動脈リンパ節転移

M分類:他の臓器への転移の有無

M0 :転移なし

M1 :転移あり

膀胱癌のT分類



Ⅲ 膀胱がん 治 療

1 表在癌

- ・ 経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT)
- ・ 膀胱内注入療法
BCG, マイトマイシンC、テラルビシンなど

2 浸潤癌

- ・ 根治的膀胱全摘除術+尿路変向術
- ・ 化学療法
- ・ 放射線療法

3 遠隔転移のある症例

- ・ 化学療法
- ・ 放射線療法

実際の診療の流れ

症状発現

- ・ 肉眼的血尿、顕微鏡的血尿
- ・ 腎盂拡大、側腹部痛(腎盂尿管癌)
- ・ 膀胱刺激症状(膀胱癌)
頻尿、排尿時痛、残尿感等

検査・診断

専門医へご紹介を！

- ・ 内視鏡検査

治療

- ・ 手術療法
- ・ 化学療法
- ・ 放射線療法